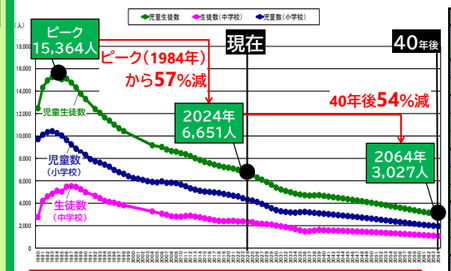
将来推計、多面的な実態把握、学校施設・運営面での教育課題からのまとめ

資料4

Ⅰ 将来推計

○ 市全体

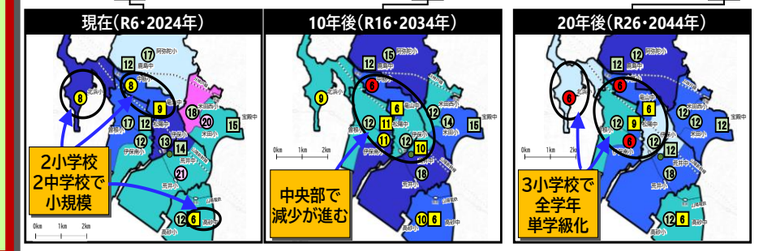


- ピーク時から57%減と、再編検討を行う時期を迎えている。
- 20年後には、3つの小学校で全学年1学級になる予測

○ 学校別

普通学級数 / 学校名	現在 2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	10年後 2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	20年後 2044
高砂中学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	4	4	5	6	6	6	6	6	6
高砂小学校	12	12	12	12	12	11	10	10	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12
荒井中学校	14	14	14	12	13	13	12	12	10	10	10	10	10	9	9	9	9	10	11	11	12
荒井小学校	21	22	21	20	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
竜山中学校	9	9	9	9	8	7	7	6	6	6	6	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6
伊保小学校	13	14	13	12	12	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
中筋小学校	8	11	10	8	9	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
松陽中学校	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	9	9	10	9	9	9	9	9
伊保南小学校	12	12	11	10	10	9	9	9	10	11	11	11	10	9	8	8	7	6	6	6	6
曽根小学校	17	18	18	17	16	15	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
宝殿中学校	15	17	16	17	17	17	17	17	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12
米田小学校	20	21	21	20	19	18	16	16	16	15	14	14	14	13	12	12	12	12	12	12	12
米田西小学校	18	18	18	18	18	17	16	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
鹿島中学校	12	12	12	11	13	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	12	12	12	12	12	12
阿弥陀小学校	17	18	18	18	18	18	17	17	17	16	15	14	14	13	13	12	12	12	12	12	12
北浜小学校	8	9	10	9	9	8	9	9	8	9	9	10	10	10	9	8	7	6	6	6	6

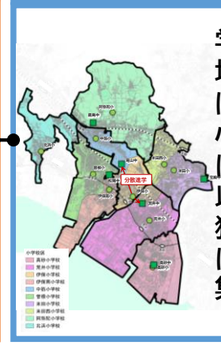
:6学級以下(小学校)
:7～11学級(小学校)
4～11学級(中学校)
:19学級以上



Ⅲ 地域状況の把握

沿岸部は工業地域、北部は市街化調整区域となっており、人口は中央部・北東部に集中。

通学区域・学校配置

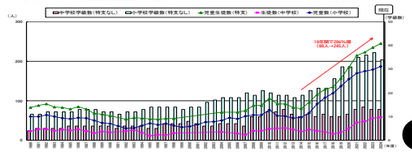


学区と地域界はほぼ一致。小中学区は伊保小以外一致。狭い範囲に学校が集まる。

今後は、旧町村界を超えた検討が必要。

Ⅳ 学校施設・運営面での教育課題

特支児童生徒数は、10年で3倍に



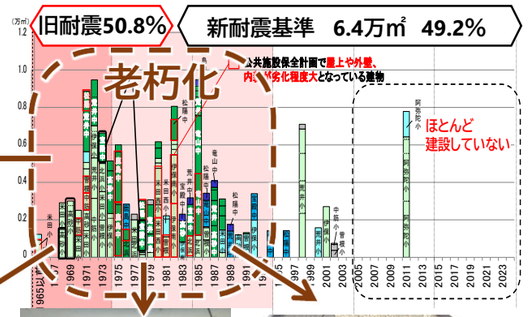
特別支援教育や不登校支援など、学校再編と併せて今後の在り方の検討が必要

Ⅱ 施設状況

コンクリート片や手すり落下など重大事故の危険

外壁ひび割れ

○ 築年別整備状況(125棟　13万㎡)

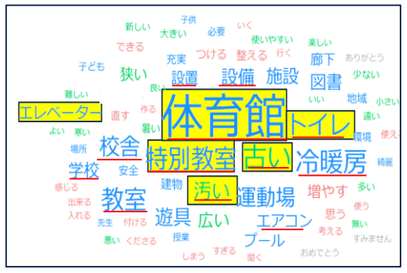


手すり

天井漏水

軒天

○アンケート「改善してほしい場所」



体育館、特別教室、トイレに要望が集中

多くの学校で老朽化が著しいため、早急な対応が必要

将来推計と施設状況の両面から対応が必要

Ⅰ ～ Ⅳ

第４期高砂市教育振興基本計画（令和７年２月末）

具体化

高砂市の『これからの学校像』の具体化

適正規模　適正配置　求められる学習環境

これからの学校像
（どのような教育を目指すか）

学年を超えたつながり

多様な学習形態

一人ひとりにあった学習　地域との関係　教職員働き方改革　小中一貫教育

適正規模
適正配置
基本方針

これからの学校像（見える化）

『これからの学校像』の実現に向けて、施設の老朽化対応とあわせた学校再編が必要